



保護者アンケート 集約結果と今後の方向性

12月に保護者の皆様からいただきました保護者アンケートの結果を受けまして、本校職員で検討した内容をお知らせ致します。

※ (A : よい B : おおむねよい C : やや不十分 D : 不十分)

NO.	質 問 項 目	A	B	C	D
1	お子さんは、失敗をおそれずチャレンジしたり、最後まであきらめないで取り組んだりするようになってきていますか。<学校教育目標:きたえる子>	24.3%	55.7%	19.1%	1.0%
2	お子さんは自ら学ぶ姿勢は育ってきていますか。<学校教育目標:学ぶ子>	30.2%	48.3%	19.6%	2.0%
3	お子さんは、身近な人に親切にする心が育ってきていますか。<学校教育目標:思いやる子>	50.5%	40.8%	8.2%	0.5%
4	お子さんは、家庭で学習する習慣が身についていますか。	31.2%	38.4%	25.7%	4.7%
5	お子さんは、クロームブックを家に持ち帰った際に有効に活用していますか。	21.8%	37.6%	28.2%	12.4%
6	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	59.4%	34.9%	4.5%	1.2%
①	学校は、子供たちの良さを認め、励ます取組を行っていますか。	41.6%	50.7%	6.7%	1.0%
②	学校は、お子さんの悩みや問題について適切に対応していますか。	37.9%	51.7%	9.2%	1.0%
③	学校は、子供たちが地域に積極的に関わるとような取組を行っていますか。<学校重点目標:八雲の地で自ら取り組み、友と高めあえる子の育成>	28.0%	55.7%	15.6%	0.7%
④	コロナ対策として行事の在り方を見直してきました。行事等の取組は子供たちの様子を適切に伝え、成長を感じられるものとなっていましたか。	44.4%	49.4%	5.7%	0.5%

上記の数値評価を見ると、以下の3点が見られました。

・ **育ってきた。身近な人に対する おもいやり**

→今後も学級の中での相互の協力関係、信頼関係づくりに努めていきます。

・ **家庭学習の習慣、十分でない子が3割**

→子供たちへもアンケートを実施しました。家庭学習の目標時間（学年×10分+10分）を達成している子は半数ほどでした。次年度も家庭学習の内容や量を確認し、家庭学習の目標が達成できるよう各学級で指導していきます。また、具体的な目標設定や、1年生から6年生までの「目指す姿」を保護者の方にお伝えするのが不十分でした。次年度は、定期的にお伝えし、学校とご家庭がより一層連携することで、子供たちの家庭学習の習慣化をはかっていきたいと思います。

・ **クロームブックの有効活用 児童と保護者に見られる評価の差**

→子供たちへのアンケート結果では、66%の児童が、週末にクロームブックを活用しているとのことでした。学年による差も大きいですが、概ね活用していると考えます。しかし、保護者アンケートから、「学習に有効な活用」という点で課題があると感じます。今後は、子供たちに、家庭学習への活用を促すとともに、発達段階に応じた効果的な活用の仕方も指導していきます。また、「学習以外では使用しない」等のルールの徹底も行っていきます。

本校の教育活動について、成果が上がっていると思われることや、次年度の学校教育の重点として必要と思われる内容について**たくさんのご意見をいただきありがとうございました**。以下のようにご意見と見解をまとめました。

□「朝の検温をもっとスムーズにしてほしい」

⇒現在は、各家庭で記載された健康観察シートを教室に入る前に確認し、発熱児童は、入室させない対応をとっております。このシステムを基本とし、よりスムーズになるように工夫していきます。

□「オンラインがとても有効だった。参観日はコロナが収まっても続けてほしい。」

⇒続けます。ただカメラマン確保が難しく、クロームブックを何箇所かにおいての録画となります。

□「家庭訪問がなく、よかった」「個人懇談はとても有効だった。」

⇒次年度以降も家庭訪問を家庭確認（担任が各家庭の場所を確認する）のみとします。個人懇談は、5月に全世帯を対象として行います。また、要望があれば個人懇談を適宜行っていきます。

□「Chromebook の活用には賛成だが、持ち帰るのが重そう」

⇒学校においておく教科書、ノート、道具などいわゆる「置き勉」を増やしていきます。

□「全体的な学力が低いと感じている。学力を上げてほしい」

⇒学力調査やNRT学力検査等を見ると、全国、全道と比べ低い結果でした。次年度も、学習形態（T・T）やICTの効果的活用を意識した授業改善を進めていきます。また、朝の計算トレーニングや放課後学習の実施を通して、基礎的学力を全員に定着させるよう取り組んでいきます。次年度は、「教科書を正しく読む読解力」向上の取り組みも行いながら、学力の向上を図っていきます。

□「学校に行った時あいさつしてくれるのは、知っている子だけ。日本一を浸透させてほしい」

⇒引き続き、挨拶の大切さを子供たちに伝えていきます。加えて、今年度は、感染拡大予防の意識を持ちつつ、さわやか（明るく、笑顔で）あいさつ八雲っ子を合言葉に挨拶を推進してきました。次年度も児童会や委員会が中心となって「さわやかあいさつ運動」をすすめていきます。

□「子供たちの<声>をしっかりと聞いてほしい。その上で向き合って指導してほしい」

⇒子供たちの<声>をしっかりと聴くことを心がけていきます。また、次年度より全児童を対象に、担任との個別教育相談週間を5月に設けます。相談することの大切さを児童に伝えるとともに、児童の依頼に対応する体制づくりに努めていきます。

□「月行事を早めに教えてほしい」

⇒ホームページへ月行事を掲載しております。前の月の20日前後までには掲載できるよう努力します。

□「スキーの道具のリース等ができませんか」

⇒保管・管理や補償の関係で学校での対応は難しく、またスキー場や町内のスポーツ用品店に確認をとりましたが、リース等の予定はないとのことでした。今後も保護者の方に対応していただきたいと思います。

□「習字や絵の具のパレットを学校で洗うことはできませんか」

⇒本校は、筆やパレットを洗うことができる水道の数が少なく、授業時間に洗う時間を設定すると、活動時間が短くなってしまいます。洗い方や持ち帰り方については、学習が始まる学年の最初の時間に、学校で指導したいと思いますので、引き続きご家庭での協力をお願いします。

たくさんのお言葉や、参考になるご意見をいただきました。

□「コロナ下でも子供たちの学習の機会をしっかりと確保していただき感謝しております。」

□「今後コロナが収まっても、参観日や学習発表会など、親が参加する行事は分散や学年ごとがいいと思います。その方が自分の子供のことが見やすいですし、混雑なくていいです。」

□「学習発表会が素晴らしかった。感動しました。」

□「PTA 活動を行わないことや、学校行事を極力開かなかったのもコロナ対策として安心しました。平時に戻ったとしても、これを機に不必要と思われるものはどんどん削減した方がいいと思います。」

□「あいさつが元気がよくて感心します。たまに学校にお迎えに行った時も、こんにちはとあいさつしてくれて素敵だなと思いました。」

□「家庭学習の習慣が身についており、毎日自学ノートに取り組んでいます。ありがとうございました。」

□行事の取組は来年度以降も同じように実施していただけると、余裕をもってみる事ができてありがたいです。

他多数のお言葉、ご意見をいただきました。今後も、保護者の皆さまと共に、よりよい教育を目指していきたいと思っております。ご理解・ご協力をお願いいたします。